

2015-B					
拠出金・基金の 名称		OECD科学技術指標専門家会合 (NESTI) への任意拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】経済開発協力機構					
【所管官庁担当局課・室名】文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 NESTIの活動の重要性を鑑み、邦人職員のOECD事務局への派遣					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	25,480	182	—	1ユーロ = 140円	0
平成26年度	23,296	182	—	1ユーロ = 128円	0
平成25年度	19,474	182	—	1ユーロ = 107円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・NESTIはOECD/CSTP(科学技術政策委員会)の下部組織のひとつであり、科学技術関連指標について、国際比較のための枠組づくりの観点から、統計調査の方法や指標の開発等に関する検討を行っている。国際社会のグローバル化が進み国際競争が激化している中で、NESTIで進めている国際比較可能な科学技術指標の整備は、我が国の科学技術・イノベーション政策を推進する上で必要不可欠であると評価している。 ・2015年の活動としては、4月の会合において、ビューロより提示されたフラスカティ・マニュアル(注1)の改訂案に関して議論され、本会合で合意された内容を参加国及び機関が実行することと、合意された原則・内容を変更しない範囲で5月19日を期限とした書面による意見提出を認めることを条件として、原則として合意された。また、ブルー・スカイ・コンファレンス(注2)の計画に関して、ホスト国であるベルギー及びOECD事務局より発表がなされた。会合文書DSTI/EAS/STP/NESTI(2015)10に示されるように、コンファレンスは、地元の組織委員会、運営グループ、科学委員会によって運営されることとされているところ、その構成や任務について示された。また、各国に対して、コンファレンスでの論題案、参加することが適切な専門家コミュニティ、資金や現物の提供も含めた貢献の意向等について照会された。 (注1)OECDが定める、科学技術活動に関するデータの収集・分析のためのガイドライン。加盟国は本マニュアルに基づいて科学技術指標を測定するよう求められている。 (注2)科学技術・イノベーションの測定の枠組み・基盤・指標等に関する今後の展開に指針を得ることを目的とし、OECD諸国を越えて広く参画を募る唯一の国際的会合であり、過去10年毎に開催されている。					